

御蔵島（御蔵島村）

基本情報			
人口	348人（平成22年国勢調査）	面積	20.58 km ²
地形的特徴等 ⁷⁾			
◆御蔵島は東京の南方海上約200kmに位置するほぼ円形をなした鐘上の島である。御山を中心に島全体が一つ山岳の様相を呈し、海岸は海食のため直立した断崖が多く、雄大な景観をなしている。島内の集落は北西部の海岸沿いに形成されている。			

被害想定結果（最大ケース）

人的被害が最大となる地震動・津波ケース		—	
建物棟数		183棟（うち木造171棟、非木造12棟）	
建物被害	全壊	0棟	
	（うち急傾斜地崩壊等）	0棟	
	（うち津波）	0棟	
	半壊	0棟	
シーン設定		冬・昼間	冬・深夜
人的被害	死者	0人	0人
	（うち津波）	0人	0人
	負傷者	0人	0人
	（うち重傷者）	0人	0人

定性的な被害様相

●ライフライン施設被害

[上下水道]

- ・最大震度が5弱程度であることから上水道の被害はほとんど生じない。
- ・下水処理場はないが、合併浄化槽の一部で被害が生じること等により水洗トイレが使用できなくなる住宅や施設等が生じる可能性がある。
- ・津波浸水エリアでは、中長期にわたり上下水道が使用できなくなる可能性がある。

[電力]

- ・御蔵島発電所（内燃力（ディーゼル）、水力）は津波浸水域に含まれておらず、最大震度は5弱程度であることから運転停止となる可能性は低い。
- ・内燃力（ディーゼル）発電所が健全であったとしても、島外からの燃料供給が途絶え、供給力が低下することは有り得る。

[ガス]

- ・都市ガスの供給はなく島内はLPガス（プロパン）での供給であること、最大震度が5弱程度であることからLPガスボンベがあり各住戸のガス設備に損傷が生じない限りは使用可能である可能性が高い。
- ・港湾施設が被災することによりLPガスの供給が途絶える可能性があり、ガスボンベを使い切った後は中長期にわたりガスが使用できなくなる可能性がある。

[通信]

- ・津波による海底通信ケーブルの切断等で通信が途絶する可能性がある。震度5弱程度であることから島内の通信ケーブル（電話線等）の断線が起こる可能性は低い。

- ・電話は輻輳によりつながりにくくなる可能性がある。

[その他]

- ・ごみ処理施設、し尿処理施設（合併浄化槽等）が被災し、処理が追いつかない状態が続く可能性がある。

●交通施設（港湾等）、主要施設等被害

[港湾・漁港]

- ・御蔵島港で最大約6mの津波浸水深となり、貨物の流失、引き波による座礁、船舶の転覆・沈没・破損、流失物による港湾施設の破損や航路障害、倉庫や荷役機械の損傷、アクセス交通の寸断、防波堤の被害等が発生し機能を停止する可能性がある。

- ・港湾施設の破損や航路障害により、中長期にわたり海運による生活物資の搬入や人の往来が途絶する可能性がある。

[空港等]

- ・御蔵島ヘリポートは津波浸水の可能性は低く、最大震度は5弱程度であることから、被害はほとんど生じない。

[道路]

- ・港付近や岩場近くの津波浸水した道路が通行困難となる。
- ・津波浸水域で補修を必要とする被害が発生する可能性がある。

[島内交通]

- ・燃料不足により車やバスが利用できず、中長期にわたり生活に支障をきたす可能性がある。

[主要施設]

- ・役場や避難所、診療所等の島内の主要施設では、浸水被害の可能性はほとんどない。

●その他

[建物被害・人的被害]

- ・建物被害・人的被害は、ほとんど発生しないと想定される。
- ・高齢者（災害時要援護者）の避難生活の困難等が顕在化する可能性がある。
- ・ガラスの飛散や家具の転倒等により人的被害が生じる可能性がある。
- ・観光客が2月（冬）で1日当たり最大約10人、8月（夏）で1日当たり最大約180人滞在している。この中から、土地勘がないことによる津波からの逃げ遅れや帰宅困難問題、待機施設・物資の不足等の問題が発生する可能性がある。また観光客等の被災により、犠牲者が更に増える可能性がある。

*観光客については、昼間は観光地周辺、夜間は宿泊地周辺ということが考えられるが、実際の滞在地点を推定することは困難である。

[産業への影響]

- ・港湾施設や漁船等の被害、航路障害等により、観光業や水産業等の産業に悪影響が及ぶ可能性がある。